



【先々週のメッセージより】ダニエル 6章

「信教の自由／獅子の穴のダニエル」

●信教の自由のもろさ

ダニエル6章を読む時、一節ごとに、ダニエルを陥れようとする隠れた動機を持った大臣たちによって「信教の自由」が合法的に取り上げられて行く様を見る。今、私たちが享受している「信教の自由」も、もし私たちが政治に対して無関心を装ったり、考えもしないで法案に賛成票を投じるようなことがあれば、何時でも簡単に失うものであることを覚えてたい。信教の自由は今も昔も変わらず、もろいものなのである。

●ダニエルの行動基準

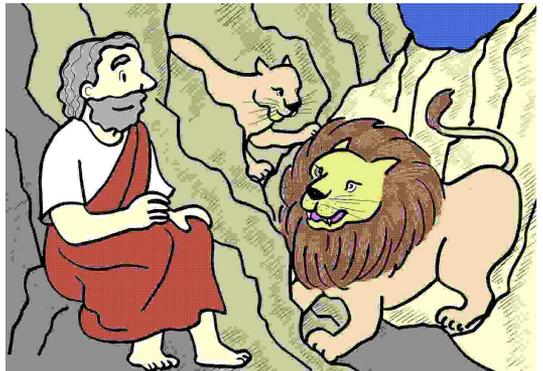
ダリヨス王を礼拝しなければならぬ法案がダニエルのあずかり知らない所で通されてしまったことにより、日に三度行なってきたダニエルの神への礼拝行為は違法となってしまう。しかし、ダニエルは人を恐れることをせず、礼拝を続けた。ダニエルは、こと「神に従うこと」と「人に従うこと」とがぶつかるときには、迷わずより高い基準、すなわち、神に従う道を選び通したのである。従った末どうなるかについては、神の守りと導きとに任せる、というのがダニエルがとった姿勢であり、私たちがまた倣うべき姿

勢なのである。これは、使徒たち／ペテロやヨハネ、パウロなども皆、踏襲した道筋である。

●ダニエルの品格の力

このストーリーを読み解くためにもう一つ、抑えておくべきは、御霊と知恵に満ち、整えられたダニエルの品格の力である。長年神と共に歩んだダニエルの人格は練られ、神の知恵により磨かれた判断力は優れ、ダリヨス王にとり、最も信頼を置くことのできる存在となっていた。文面を読む時に、王とダニエルとの間にあったのは、単なる主従関係ではなく、むしろ友情であったことが伺えるのである。ダリヨス王もネブカデネザル王と同様、最終的には生けるまことの神のみが礼拝対象として相応しい方であるという結論に達したことを覚えてたい。

●私たちの友人達は私たちを通して同様に神に出会うだろうか。



【今週の暗唱聖句】 **ピリピ2：13**

**神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて
志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。**

共同訳：あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。

NIV : for it is God who works in you to will and to act in order to fulfill his good purpose.

NASB : for it is God who is at work in you, both to will and to work for His good pleasure.

●上記のそれぞれ翻訳を比べてみると、ばらつきがあることに気がつくであろう。「みこころのままに」と日本語で訳されている所は、英語訳だと「御自身の良い目的 NIV / 喜び NASB のために」となり、意味も少々変わる。が、どの訳でも共通しているのは、神が私たちの意思や行動にも働きかけておられる、という事実である。神は決して私たちの自由意思を踏みにじることはなさらないが、聖霊の働きによって私たちにチャレンジを与えたり、促したりなさるのである。■

【こども信仰問答】

問2 ^{かみ} 神さまは、なぜ^{すべ}全てのものを、また^{わたし}私たちをつくられたのですか。

答え ^{かみ} 神さまは、神さまの^{かみ}すばらしさ（^{えいこう}栄光）が^{すべ}あらわれるために、^{すべ}全てのものをつくられたからです。

聖書 ^{てん} 天は神の^{かみ}栄光を^{えいこう}語り^{かた}告げ、^つ大空は^{おおぞら}御手の^{みて}わざを^つ告げ知らせる。 ^し ^{しへん} 詩篇^{しょう}19章^{せつ}1節

問3 ^{かみ} あなたはどうすれば、神さまの^{えいこう}すばらしさ（^{えいこう}栄光）あ^らわす^ことが^でき^ます^か。

答え ^{かみ} 神さまを^{あい}愛し、^{かみ}神様の^{おし}教えを^{まも}守ることによってです。

聖書 ^{けっきよく} 結局のところ、もう^きすべてが^き聞かされていることだ。
^{かみ} 神を^{おそ}恐れよ。神の^{かみ}命令を^{まも}守れ。これが^{にんげん}人間にとって
^{でんどうしゃ} 伝道者の^{しょ}書^{しょう}12章^{せつ}13節

